



子供の未来応援ワイン 南アフリカの小学一年生 新入学応援キャンペーン

#子供の未来応援ワイン
#ハーテンバーグ
#hartenbergestate
#arigato_hartenberg
#SDGs

ハーテンバーグ・ワイン&ペブルス・プロジェクト

●【ペブルス・プロジェクト】 南アフリカ西ケープ州を中心に貧困地区の子供向けの教育支援をしているNGO（非営利団体）。2004年設立。2021年時点で48の施設で1568人（0～16歳程度）の子供達を支援している。教育、健康、栄養、コミュニティ支援、安全保護の5つを基本施策としている。
pebblesproject.org

●【プロジェクト背景】 南アフリカは、かつてアパルトヘイト（人種隔離政策）時代（1948年～1990年代前半）、ワイン業界では、労働者への賃金をワインで支払う「ドップ・システム（現物支給）」が行われていました。ワイン産地である西ケープ州は、この習慣によってアルコール中毒患者が増え、男性は仕事が出来なくなったり、家庭内暴力や家庭崩壊につながり、女性は妊娠してもアルコール摂取が止められず、胎児性アルコール・スペクトラム障害（FASD。学習障害、知的障害、発達遅延、記憶障害、低身長や低体重などの発達障害）の有病率が現在でも世界で最も高いとされています。ペブルスは、そのような子供達にも教育支援（託児所/学童保育）をしようとして始めました。現在では、健全な子供達も対象としています。

●【ハーテンバーグ社の取組】 南アフリカワイン業界の名門でもあるハーテンバーグ社（ステレンボッシュ地区）は、上記のペブルス・プロジェクトを支援しています。この度、同社はペブルスの子供達の2023年2月（南アフリカの新学年スタートの月）の小学一年生の新入学祝の応援をする企画を実施しています。具体的には、入学の時に必要なカバンや文具、ノートや教材など様々な費用がかかりますので、その費用を支援するものです。現地では、2022年9月から12月末の期間に、ハーテンバーグ社が販売するワイン1本あたり〇〇円をペブルスに寄付するというものです（寄付金額はワインのアイテムによって異なります。例えば、リースリング、シラーズ、メルロ、カベルネソーヴィニオンなら1本販売するごとに約42円、エレノア・シャルドネなら約85円、ストーク、グラベルヒルなら約170円を寄付します）。この取組は、今年12月末に締めて寄付金の総額を年明けにペブルスに寄付することになっています。同社ワインの輸入元である(株)マスダ（southafricawine.jp）もこの取組を応援しています。

